

機械器具(03)医療用消毒器

管理医療機器 一般的名称: 軟性内視鏡用洗浄消毒器 JMDNコード35628000

特定保守管理医療機器 内視鏡急速洗浄器 ESPAL-Ⅲ

【禁忌・禁止】

1. 洗浄水は、飲用に適する上水道以外は使用しないで下さい。

2. 洗浄液は、指定された洗剤及び薬液以外は使用しないで下さい。

3. 軟性内視鏡以外は洗浄しないでください。

4. 機器は絶対に勝手に改造しないで下さい。

【形状・構造及び原理等】

*1 外 観
各部の名称(シリーズ:ESPAL-Ⅲa)



各部の名称(シリーズ:ESPAL-Ⅲb)



※Ⅲb型は傾斜部・アームが省略され、洗浄パイプ取付けバーのみ固定型となる。

*2 電氣的定格
電源電圧: AC100V±10%
消費電力: 最大250VA
周波数: 50/60Hz
保護による分類: 保護接地接続

3 原 理
本装置は、自動給水・循環・排水ポンプ・洗剤自動吸引ベローズポンプエアーブローの構成となっている。装置の動作はCPUにより制御います。洗浄コースは操作パネルの設定ボタンの指示によります。シャワーボックスを開け内視鏡スコープを差し込みセッティングします。スタートボタンを押すと洗浄を開始します。

【使用目的、効果・効能】
* 内視鏡及び内視鏡と併用する器具機材を洗浄及び消毒すること。

【品目仕様等】
*

自動洗浄時間	6分
洗剤洗浄	外表面: 流液洗浄 チャンネル内: 送液及び充滿 波動洗浄あり ボタン類: 流液洗浄
洗剤洗浄時間	40秒
水洗時間	40秒
洗浄・消毒	外表面: 洗浄・消毒液浸漬 チャンネル内: 送液及び充滿 波動洗浄あり ボタン類: 消毒液浸漬
洗浄・消毒時間	120秒1回
選択設定	70秒2回
水すすぎ	20秒3回 波動洗浄あり
エアブロー	15秒

洗浄槽の容量: Ⅲa 1050ml、Ⅲb 780ml
水道水: 水圧0.1～0.4MPa 水温 10～30℃
使用消毒液: 二酸化塩素水溶液 pH6 30ppm
使用洗剤: 当社指定洗剤

【操作方法又は使用方法】

使用前 <1 装置準備>

- 1 給水、排水ホースの接続
- ①給水、排水ホースにホースバンドを通し、ホース接続口に挿し、ホースバンドを締めます。

②水道活栓を開き、本体ニードルバルブを開きます。

2 洗浄液のセット

洗浄液の容器を本体の平台に載せ洗浄液吸引パイプの先を本体吸引チューブのパイプジョイントに差し込みます。



取扱説明書を必ずご参照下さい。

3 一次洗浄用薬剤の準備

ハイクリーンを水1リットルに計量スプーン1杯の割合(200倍)で溶かし、一次洗浄用容器(バケツのような広口容器)に入れて内視鏡トローリーのそばに用意します。
(湯で溶かすと速く溶けます、40℃以下に冷えてから使用してください。)

使用直前の操作 <2 自動洗浄準備>

- 1 操作パネルの電源スイッチを「ON」します。(緑ボタン)
- 2 装置内の配管エア抜き
操作パネルの洗浄液充填ボタンを押します。(ピンクボタン)
セクリンをチューブ内に充填した後、水道水が管路内部のエアを押し出しながら洗浄槽上部まで入ってから排出されます。
(以上、準備は1日の洗浄作業開始時及びセクリン容器交換時に行います。)
- 3 IIIa型のみ、ダウンボタンを押して、洗浄槽を手前に傾斜させます。
途中で止めたい時は、同じボタンを押すと停止します。(IIIbは省略)
- 4 シャワーボックスを開け、洗浄アダプターを全てボックスの外に出しておきます。

操作方法 <3 洗 浄>

1 スコープ挿入部の洗浄

- ①患者さんから抜き出したスコープ挿入部の汚れを、一次洗浄用容器のハイクリーンを含ませた不織布またはガーゼでやさしく洗います。
- ②スコープの吸引ボタンを押しスコープ先端からハイ・クリーンを100ml以上吸引して、鉗子チャンネル内の汚物を廃棄するとともに、送気送水ボタンを押してチャンネル内の汚物を押し出します。
- ③ハイクリーンを流水下で、よくすすいで下さい。
(チャンネル内やボタン及び周辺は専用ブラシを用いて、よく汚れを落として下さい。)

2 スコープを洗浄槽にセット

- ①スコープを光源装置から外し、ソケット部に防水キャップを取付けます。
- ②軟性部先端から洗浄槽に挿入します。
スコープを挿入する前に、光源ソケットをソケットハンガーに掛けておくと操作が楽です。
- ③鉗子詮および吸引、送気送水ボタンを外しシャワーボックス内のボタン洗浄トレーに入れます。
- ④軟性部が奥まで入ったら、操作部をシャワーボックス内のハンガーに掛けます。
- ⑤ユニバーサルコードを反時計回りに大きく巻きます。
- ⑥光源ソケット部を操作部の左側において下さい。
コードの長さを巻き方で調節して下さい。

3 洗浄アダプターを取り付けます。

- ①吸引、送気送水ボタン部に専用アダプターを取り付けます。
- ②鉗子口に専用アダプターを取り付けます。

<4 自動洗浄開始>

- 1 Eウォッシュを約5ml~10mlシャワーボックス内に注入して、シャワーフードを閉じます。

- 2 操作パネルのスタートボタンを押します。(緑ボタン)

- 3 洗浄を開始します。洗浄パネルの洗浄工程表示ランプが点灯し洗浄工程を知らせます。

- 4 約6分間自動洗浄を行います。



- 5 終了ブザーが鳴り工程の終了を知らせます。

<5 洗浄終了>

- 1 洗浄の最終工程エアブロー(送気排水)のときブザーが鳴って終了を知らせます。※IIIa型はダウンボタンを押して洗浄槽を倒す。
- 2 シャワーフードを開け、洗浄アダプター及び送液チューブを外してシャワーボックスの外に垂らします。
 - ①ユニバーサルコードを清潔なガーゼまたはタオルなどで拭きながら取り出します。
 - ②操作部、軟性部をシャワーボックスに擦らないよう拭きながら取り出して下さい。
- 3 アルコールフラッシュ(チャンネル乾燥)。
 - ①スコープを洗浄槽に挿入したまま10ml又は20mlのディスボシリンジにアルコールを入れ吸引ボタン孔及び送気送水ボタン孔に約10mlずつ注入します。送気送水孔は、細いのでゆっくり注入してください。
 - ②ボタン部洗浄アダプターを取り付け、コントロールパネルの送気ボタンを押します。(青ボタン)
チャンネル内に連続送気され、アルコール乾燥されます。
 - ③5分以上経過したら送気ボタンを押して停止します。
 - ④終了後はなるべく早く洗浄槽より取り出し外部を乾燥させて下さい。

*アルコールフラッシュは1日のスコープ洗浄終了後にも行います。

使用後の処置 <6 装置終了>

- 1 当日最後の洗浄終了時に行います。

- ①チャンネル洗浄アダプターを全てシャワーボックス内に入れシャワーフードを閉めます。
- ②付属の1リットル角型ポリタンクに水を満たし、内部洗浄タンク受け金具に置きセクリン吸引パイプを差し込みます。
- ③セクリン容器のパイプから外した吸引チューブのジョイントを1リットルタンクのパイプに接続します。
- ④操作パネルの内部洗浄ボタンを押します。(ピンクボタン)
1リットルタンクの水が吸引され、内部のセクリンを薄めながら洗浄槽内・管路内を全て洗浄し、1分後に洗浄槽内から排出し終了します。

- 2 操作パネルの電源スイッチを「OFF」にして水道活栓を締めて下さい。

- 3 1リットルタンクに残った水を捨て、セクリン容器にキャップをする。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

＜7 清掃及び保守点検＞

1 定期点検清掃

ゴミ取りストレーナの清掃

- ①電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ②本体横の点検窓板から出ているグレーの塩ビ製ネジをゆるめてストレーナを引き出します。
- ③流しの流水の下で、金網を洗浄してください。
- ④洗浄が終わりましたら元に戻して、しっかりと締めてください。

2 装置及び付属品は次回の使用に支障のないよう必ず洗浄して下さい。

3 機器及び部品は必ず定期点検を行ってください。

＜使用方法に関する使用上の注意＞

- ・内視鏡スコープをセットする時、スコープ軟性部根元を強く曲げたり軟性部をシャワーボックスに擦らないよう注意してください。
- ・ユニバーサルコードはコードの癖に逆らわずに優しく巻いてください。
- ・使用経歴の長いスコープはチャンネル内に傷が多く、粘液や組織片が引っかかる場合があります。鉗子詮を外し、鉗子チャンネルにブラシを通して付着汚物を押出して下さい。（大腸用及びブロンコの場合はぜひ、行って下さい。）
- ・シャワーボックスのシャワーの勢いや排水の速度が弱くなってきた時にはゴミ取りストレーナの清掃をして下さい。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1 薬液の濃度を濃度判定試薬（パックテスト）でチェックして下さい。
- 2 洗浄液の残量を確認して下さい。
- 3 シャワーフードの上に物を置かないで下さい。
- 4 洗浄終了後、洗浄工程表示ランプが点滅した時は、電源を切りサービスセンターにご連絡下さい。
- 5 1日の洗浄終了後は水道活栓を必ず締めて下さい。

【貯蔵方法及び使用期間等】

◎設置環境（温度、湿度）

設置場所：室内（傾斜、振動衝撃などの安定状態に注意して下さい。）

温度：5～40℃

湿度：30～80%RH（結露無き事）

【耐用期間】

- 1 本装置の耐用期間は、製造出荷後（納品後）5年とする（自社基準による）。
- 2 条件：使用上の注意を守り、正規の保守・点検を行った場合に限る。
- 3 以下の部品は消耗品（修理不可能）である。本添付文書「保守点検に係る事項」に示す使用前点検および定期点検を実施し、必要であれば新品と交換すること。

- ・各種チューブ、Oリング ・バルブ ・電磁弁
- ・フィルター ・各種ポンプ等
- ・逆止弁、フロート、継手、キャップ等

【保守点検に係る事項】

取扱説明書をご参照のうえ保守点検を定期的 to 実施してください。

1) 使用者による保守点検事項

項 目	点検頻度	点 検 内 容(概要)
電源コンセントの点検	使用前	電源コードのコンセントの差込状態を確認して下さい
洗浄槽内の点検	使用前後	洗浄槽内に異物が入っていないか点検確認して下さい
洗浄槽内へ水逆流の有無	終了後	洗浄槽内に水の逆流があるか点検して下さい
給水ホースの点検	使用前後	洗浄槽内に異物が入っていないか点検確認して下さい

詳細な内容については、取扱説明書の該当部分を参照して下さい。

2) 業者による保守点検事項

項 目	点検時期	点 検 内 容
ジョイントゴムの交換	半年1回	セクリン吸引パイプを接続しているパイプ受け ジョイントゴムの交換
接続部・アダプターの点検	半年1回	給水ホース接続部及び接続アダプターの点検
排水ホース点検	半年1回	排水ホースの状態を点検
チューブ・接続プラグ点検	半年1回	チャンネル洗浄チューブ及び接続プラグの点検
ゴミ取りストレーナー点検	年1回	ゴミ取りストレーナーに異物がつまっていないか確認して下さい
電磁弁の点検	年1回	給水・希釈 それぞれを制御する電磁弁の点検
ポペットバルブ交換	年1回	セクリン送液用ペローズポンプのポペットバルブ交換
配管用ファーマドチューブ交換	年1回	循環、チャンネル、排水ピンチバルブ 配管用ファーマドチューブ交換

詳細な内容については、取扱説明書の該当部分を参照して下さい。

【包装】

1台

【製造販売業及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者の氏名又は名称：株式会社ヤマト製作所

住 所：東京都大田区北馬込2-40-12

電話番号：03-3777-3356

緊急連絡先：03-3777-3356

製造業者の氏名又は名称：株式会社ヤマト製作所

販売元(問い合わせ先)：株式会社精研

住 所：愛知県名古屋市中区和区川名町2-30-5

電話番号：0120-288-820(お客様コールセンター)

販売業者

取扱説明書を必ずご参照下さい。